

自己評価の結果について

学校法人旭川カトリック学園 砂川天使幼稚園

1. 本園の教育目標

学校教育法に準じながら、教育の根底をキリストの教えにおき、カトリック的な人間観に基づき日々の生活の中で、真理を求め、人を愛することに喜びを感じる心を育てることにある。人格形成の最も大切な幼児期に <お祈り・親切・がまん> をモットーに、祈る心、愛する心、ありがとうの心を育つことを願い、幼児にふさわしい環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的としている。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

近年、少子化の影響において年々園児数が減少する中で、幼稚園の教育課程の内容を確認し教職員の共通理解を図り、いろいろなことに積極的にかつ柔軟に取り組み、地域に根ざした魅力ある幼稚園を目指していく。恵まれた自然環境の中で子どもたちが生き生きと活動が出来る保育内容に取り組む。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目・目標	取り組み状況
1. 保育の計画性 保育内容及び指導の在り方等を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none">・カトリックの教えである園の教育理念や目標は、個々に理解しているが、話し合いの場が少なかったため、共通理解が不十分だった。今後、園長や保育者同士の話し合いを多くし、保育計画・内容の質を高めていく。
2. 保育の在り方、幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援その他の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none">・園舎内外の安全には十分留意し安全管理に努め、特に事故、怪我、危険に関することは園長に報告し職員間の共通理解が行われているが、遊具や保育環境の定期的な点検が不十分だった。・職員全員が共通理解のもと園児ひとり一人の様子を把握し、担任以外の園児にも対応している。未就園児親子登園の幼児と園児との関わりが少なかったため、お互いに楽しめるような交流を考えていく。
3. 保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等資質向上を図る。	<ul style="list-style-type: none">・保育者としての意識と自覚と責任をもった言動で、園児や保護者に接し、また園児一人一人の成長の喜びを共に感じ使命感を持って毎日の保育に携わっている。・今後とも、周りの意見を素直に聞き、自分の意見を積極的に伝えるなどして保育者としての資質向上に努力していく。
4. 保護者への対応及び家庭との連携 園児に関わる情報の発信と受信、保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応を図る。	<ul style="list-style-type: none">・月に1回クラス便りを発行し、園児やクラスの様子を保護者に会報し情報提供に努めている。保護者からの相談や要望には職員会議等で提示し話し合いのもと真摯に対応をするように心がけ、問題が起きた時は園長に報告、相談をし、職員共通理解のうえで解決に努めている。
5. 地域社会との連携 地域の自然や社会との関わり及び小学校との連携を図り、地域解放の努力をする。	<ul style="list-style-type: none">・夏祭り、バザー、ボランティア活動など地域の方との関わりを少しずつ持つ機会を得ているが、まだまだ少ないので今後の課題としている。・小学校への就学前の見学等を取り入れるなど連携を積極的にもち、交流を深め今後繋げるよう努める。

<p>6. 研修と研究 研修・研究を積極的に進め、専門性を高め、努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の専門性を深めるため研修会には参加しているが、参加後の職員間での分かち合いが不十分であると共に、一般研修に参加するだけではなく、今後園内研修の充実を図っていききたい。
<p>7. 情報公開 保育の現状等や自己点検・評価の結果等を個人情報の保護に留意しつつ、積極的に園便り等で公開する努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園だより、クラスだよりで保護者との連絡をはかり、情報を公開するよう取り組んでいる。また、映像写真の公開により、保護者に園での子どもの様子を知っていただき、本園の特徴、良さを広めつつ多くの保護者に知っていただき、より開かれた幼稚園を目指し情報公開に努め地域に根ざした、保護者に必要とされる幼稚園づくりに努めていく。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

昨年度の自己評価をふまえながら、反省とともに今後の職員個々の課題教を掲げ、自己向上に努めることにより、本園としての方針を明確にする話し合いができた。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
安全管理	不審者情報が市教育委員会や警察から、随時提供されるようになってきたことを踏まえ、これまで園での対応が十分でなかったため、保護者への情報、伝達を速やかに行なっていく。また、自然災害が発生した場合の施設面での対応と、教員の意識づけ、並びに危機管理マニュアルの作成を行いたい。
特別支援教育 (該当しない園は別な課題)	障害児が集団生活を望めば受け入れる体制を整えていきたい。また、障害児に対応した個別の指導計画の作成を検討し、医療・福祉の関係機関との連携をどのようにするかを検討したい。更に、当該児が進学する小学校との連携を密接にしていきたい。
園に対する保護者の満足度の把握	昨年度の学校関係者の評価結果から得られた反省点を考慮し改善を試みることで、多少の満足度は得られたようだが、まだまだ、保育の在り方や情報公開等について不十分な点があり、今後の課題とし本学園の建学の精神を中心としながら子育て中の保護者が期待する幼稚園像を把握しながら改善向上に努めていきたい。

6. 学校関係者の評価

カトリックの教え、教育理念については理解を得られている。クラス便りを月1回出すことにより、各クラスの保育内容や取り組みについて理解を得られ、子どもの様子、園の様子がわかるので満足しているとの意見が多かった。また、小学校との交流や夏祭り・バザーなどの地域との関わりをもてて良かったが、園外活動も積極的に行って欲しいとの意見があった。総合的な意見として、保育内容、保育士の対応について好意的な意見が多く、これらの結果をふまえ、今後さらにカトリックの精神を中心としながら、現状に留まることなく向上する保育に努めていくようにしたい。

7. 財務状況

大手監査法人である太陽 ASG 有限責任監査法人（東京）の監査を受け、適正に運営されていると認められている。また、法人本部の財務状況報告により効率的な運営に努めている。